



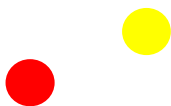
ほくえんだより

R5.6.15 上郷保育園

雨の日だって 楽しい 戸外あそび

園庭や農村公園に大喜びで出て行く子どもたち。砂遊びや滑り台、アスレチック、虫探し…といろいろな遊びをじっくり一人で、また友だちと一緒に楽しんでいます。先日は園庭の土の中からなんと、クワガタを見つけたんですよ！

そして雨の日も戸外に出て遊んでいます。晴れの日とは違い、雨の日ならではの遊びができ、楽しんでいます。ある日、5歳児と3歳児が別々の場所でテントから落ちる水滴をコップに集めていました。5歳児は2つのテントの間に立っていたのでたくさん集まり、3歳児はほんの少しだけ。それを見て「あげようか？」と分けてあげる姿がありました。3歳児は違いに気付けたかな？次に3歳児がどの場所で水を集めるのか、とても楽しみです。



ボールあそび



今、ゆりぐみ、さくらぐみでぞうさんのバスケットリングにシュートして遊ぶ姿が多く見られます。どんどん上手になり、「入った～！」という声も多く聞かれるようになりました。その声を聞いてか、『自分もやってみたい！』と小さい組のお友だちもマネをし始めます。まだボールを投げるということ自体が難しく、壁にぶつけてしまったり、上の方に上がっても後ろの方に飛んで行ったり、中には真上に上がり頭にポンと当たってしまう姿もあるんですよ！

また小さい子が2～3回投げてしまったり、どこに並ぶのかわからずに間に入ってしまったたりすることもあります。それを大きい子たちが責めることなく受け入れています。すると自然と一緒に楽しんでいる友だちの存在に気付き、きちんと順番を守るようになりました。大きい子たちが並んでいるのを見て、ちゃんと小さい子たちもマネして並ぶようになった姿に感心です。

